

1 学校教育目標

未来に向かって主体的に学び行動する児童の育成

◇めざす学校像

子どもにとって楽しい学校 ・ ・ ・ 学習・生活共に充実して、楽しいとすることができる
 地域・家庭から信頼される学校 ・ ・ ・ 情報提供しつつ、要望や疑問に丁寧に応える
 教職員が働く喜びを味わえる学校 ・ ・ ・ 笑顔があふれ、互いの取組に協力できる

◇めざす児童像

自ら学ぶ かしこい子 ・ ・ ・ 課題を見つけ、豊かに表現できる子
 心豊かな やさしい子 ・ ・ ・ 自他の良さを認めあい、高めあう子
 明るく元気な たくましい子 ・ ・ ・ めあてを持ち、継続して体を鍛える子

◇めざす教職員像

子どもの成長を願い、人間性豊かな教職員 ・ ・ ・ 温かいまなざしで接する
 情熱をもって、前向きに努力する教職員 ・ ・ ・ 高い理想に向かって前進する
 参画・協働の中で、共に成長する教職員 ・ ・ ・ 互いに耳を傾け、よりよいものを求める

2 学校経営の重点

◇方針

安心できる環境づくり

※人権・同和教育をすべての教育活動の基底に据える。
 ※特別支援教育の視点を持って、教育活動を進める。

主体性を伸ばせる環境づくり

※より確かな目標を持ち、「そのためには」を考えさせよう。
 ※実態に応じた個別の対応を図ろう。

◇今年度の重点目標

- (かしこい子) 活用力・表現力を育成する。
 基礎学力の定着を図る。
 読書に一層親しませる。
- (やさしい子) 児童同士の信頼関係を育て、自信や主体性を育成する。
 ふるさと教育を推進し、本物との出会いを通して豊かな情感を育てる。
- (たくましい子) 調和のとれた体力づくりを継続的に実施する。
 健康に関する自己管理能力を育成する。
 食育を推進する。
- (家庭・地域との連携)
 保護者・地域と連携し、基本的な生活習慣を整える。
 関係機関と連携し、相談活動を実施する。

3 具体的施策

- (かしこい子)
- ・ 図書館・ICTの利用、グループ・ペア学習の導入等により、個々の活用力・表現力を高める。
 - ・ 放課後学習支援や家庭学習支援等により、基礎学力の定着を図る。
 - ・ 様々な読書活動を計画・実施し、個々の読書活動を支援する。
- (やさしい子)
- ・ 特別活動等で、児童の考えに基づいた活動を支援し、自他ともに認めあえる集団づくりをする。
 - ・ 「ひとものこと」に触れる感動体験から学んだことややってみたいこと等を家庭・地域に発信する。
- (たくましい子)
- ・ 運動カードや元気アッププログラムを活用し、継続的な体力づくりを行う。
 - ・ 年間を通した体の学習や保健指導等により、健康に生活しようとする意欲・実践力を高める。
 - ・ 食に関する活動や学習の場を設定し、食に対する関心・実践力を高める。
- (家庭・地域との連携)
- ・ 生活習慣改善について情報提供し、生活リズムチェック等を通して、「早寝・早起き・朝ごはん・メディアとのよい付き合い方」を推進する。
 - ・ 児童理解に基づき、必要に応じて相談活動を進める。